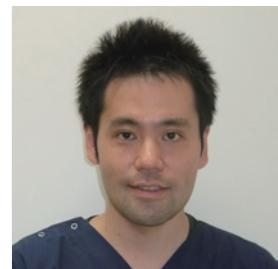


## EUS ソノプシー CY を用いた組織採取の有用性

日本赤十字社  
和歌山医療センター  
消化器内科 部長  
**山下 幸孝 先生**



日本赤十字社  
和歌山医療センター  
消化器内科  
**三長 孝輔 先生**



### はじめに

当科では年間 100 例を超す EUS-FNA を実施しているが、その際に用いる針は各社の製品を揃え、比較しながら使用してきた。どの針も一長一短があるが、癌の有無を判定する細胞診検査においてはいずれの針を用いても遜色はなく、満足のいく結果であった。

しかしながら、悪性リンパ腫や間葉系腫瘍、NET 等は免疫組織染色等の特殊染色が必要なこともあります。その際確実な組織採取が必要とされ、従来の針では十分とは言えない状況であった。その中で今回使用した EUS ソノプシー CY は、組織採取という点においては他の針と一線を画すものと思われた。

### 組織採取の方法と結果

連続する 10 症例において EUS ソノプシー CY と他社製品の比較を行った（表）。方法は同一病変に対して、他社製品は 22G 10stroke 2 回穿刺、EUS ソノプシー CY は 21G 3stroke 2 回穿刺とし、得られた組織をどの針で採取したか分からぬ状態で当院の病理専門医に読影を依頼した。

その結果、EUS ソノプシー CY は 1 例を除き組織が得られた。

組織の得られなかった症例は膵癌症例で、上十二指腸角で十二指腸は高度に狭窄し、十二指腸球部から内視鏡に強い angle をかけなければ腫瘍の描出も難しく、EUS ソノプシー CY は鉗子孔から出すことも困難であった。

C 社の針は切れ味が良く、また柔らかいため、この症例では辛うじて穿刺は可能であったが、診断可能な組織を得ることは出来なかった。



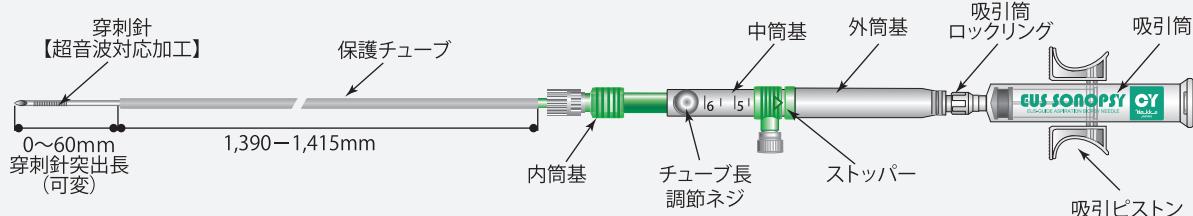
膵癌 検体

### 考察

今回の試行より、EUS ソノプシー CY は視認性も良く、大半の病変において適用可能で、かつ肉眼的にも明らかな組織が得られるため、迅速細胞診の困難な施設においても安心して検査が行えると感じた。さらに標本は挫滅の少ないきれいな状態で採取されることが多かった。

但し、改善すべき点もある。それは保護チューブの硬さと長さにより生じるものと思われる。angle を強くかけなければいけない場合、EUS ソノプシー CY は鉗子孔から出しにくい。また、保護チューブがやや長いため、OLYMPUS 社製の内視鏡以外は使用しづらいかもしれない。さらに一旦鉗子孔から出した保護チューブは長さの微調整が難しい。

#### 各部の名称



外筒基:外針長さ調節 (0-60mm)  
中筒基:保護チューブ長さ調節 (25mm)  
内筒基:内視鏡に固定

○組織標本 (EUS ソノプシー CY による)

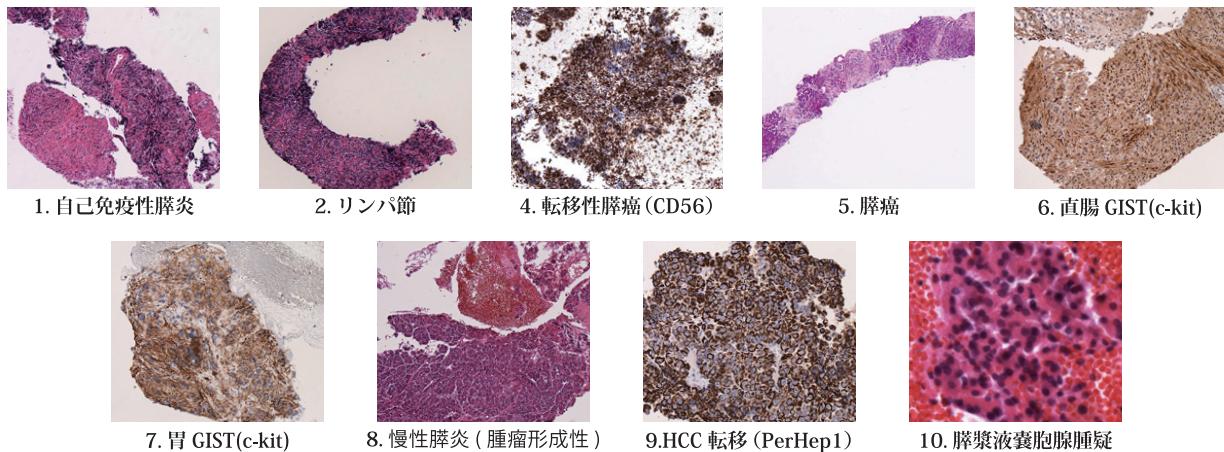


表) 採取された組織状態の評価

No		病名	穿刺臓器	穿刺刺入部	EUS ソノプシー CY	他社製品
1	83M	自己免疫性脾炎	脾体部	胃	◎	A 社 ×
2	73M	リンパ節腫大	腹腔内リンパ節	胃	◎	B 社 ×
3	53M	脾癌 (groove)	脾 (groove)	十二指腸球部	×	C 社 ×
4	84M	転移性脾癌 (肺癌)	脾体部	胃	◎	B 社 ◎
5	73M	脾癌	脾尾部	胃	◎	B 社 △
6	72M	GIST	直腸	直腸	◎	B 社 ×
7	65M	GIST	胃	胃	◎	A 社 △
8	56M	慢性脾炎 (腫瘍形成性)	脾体部	胃	○	C 社 ◎
9	78F	転移性骨盤腫瘍 (肝細胞癌)	骨盤内腫瘍	直腸	◎	C 社 ◎
10	57M	脾漿液囊胞腺腫疑	脾頭部	十二指腸球部	△	C 社 ×

◎豊富な組織量(免疫組織染色も十分可能)、○診断に十分な組織量、△小さな組織片、×組織なし

### EUS ソノプシー CY の使い方

これらをふまえ、EUS ソノプシー CY の使い方としては OLYMPUS の内視鏡を用い、保護チューブの長さは初期設定のままとする。内視鏡の angle が強くかかる場合は予め鉗子孔内に EUS ソノプシー CY を set しておく。穿刺後吸引をかけ、3 秒以上経過してから 3 回程度 stroke する (内視鏡の安定が悪く 1 回しか stroke 出来なかった症例でも十分な組織が採れていた)。これは同社製、経皮的吸引生検針 (ソノプシー C1) で経皮的肝腫瘍生検するときと同じ要領であり、stroke する度に組織が針内に進入するよう数秒待つ方が良いと思われる。

鉗子孔から EUS ソノプシー CY を抜去した後内針を抜き、生理食塩水で組織を押し出す (空気では押し出せない)。2 回目以降の穿刺のために、針内に空気を通したのち内針を set する。これらにより大半の症例で十分量の組織が容易に得られる。

### まとめ

大半の症例で EUS ソノプシー CY は、現存するどの EUS 穿刺針にも劣ることのない組織採取が可能であり、肉眼的にも明らかな組織が得られるため、迅速細胞診の困難な施設においても安心して検査が行え、有用性は極めて高いと思われた。

心のかよう医療器ハッコー

株式会社 八光

〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目42-6 NKDビル5階 ☎ (03)5804-8500

ホームページ <http://www.hakko-medical.co.jp/>

札幌 ☎ (011)611-8520

仙台 ☎ (022)257-8502

柏 ☎ (04)7147-8500

本郷 ☎ (03)5804-8500

横浜 ☎ (045)954-2111

長野 ☎ (026)276-3083

金沢 ☎ (076)253-8500

静岡 ☎ (054)282-4185

名古屋 ☎ (052)914-8500

大阪 ☎ (06)6453-9102

岡山 ☎ (086)243-3985

松山 ☎ (089)935-8517

福岡 ☎ (092)411-4100

熊本 ☎ (096)379-5806

本郷商品管理センター

☎ (03)5840-8502